

B107		考古学概説	
英名科目名	Introductory to Archaeology I		
大学名	京都橘大学		
連絡先	学務第1課 TEL : 075-574-4324 FAX : 075-574-4134		
担当教員	一瀬 和夫 (文学部歴史遺産学科教授)		
開講期間	2021年04月13日 (火) ~ 2021年07月27日 (火) 3講時 13時00分 ~ 14時30分 (毎週月曜日)		
開講形態	前期・春学期	開講曜日・講時	火曜日 3講時
単位数	2	履修年次	1回生以上
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員			
単位互換生定員	10	京カレッジ生定員	10
試験・評価方法	授業中課題(70%)、参加度(30%)		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	科目等履修生 : 32,000円		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>【教室情報】 決定次第、「お知らせ」へ掲示します。不明な点があれば連絡先まで問い合わせてください。</p> <p>【準備学習】 各地の博物館・資料館や遺跡の現地説明会などに訪れ、そこに残されたものを観察する。</p> <p>【課題に対するフィードバック】 必要に応じて行う。</p> <p>【履修上の注意点】 日々の遺跡の調査報道や歴史番組などを見るようにする。</p>		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
<p>【テーマ】 考古学が明らかにする過去</p> <p>【授業の到達目標】 遺跡の解釈する方法と考古学研究が明らかにしてきた過去の社会像、生活から得られたものを時代順に理解する。</p> <p>【授業の概要】 三時期区分法を出発点として、時代順に、考古学的な成果によって時代の具体像の変遷とその様相をみる。</p> <p>【教育目標】 ・市民や社会人として必要とされる知識や教養の獲得 ・知的関心をもって学修していく態度や心構えの養成 ・異なる考え方や異なる文化を持つ人々を理解する能力の養成 ・歴史に関する知的好奇心を高め、学問を主体的に学ぶ姿勢を身につける ・多彩な学問分野の成果を吸収し、歴史研究に役立てる重要性を理解する能力を修得する ・総合的かつ探求的な学修を通じて、人類の作り上げてきた社会・経済・政治・文化に対する深い関心と理解力を修得する</p>			
講義スケジュール			
<p>第01回 過去に何が起きたか 時間がとまったムラの発掘発掘調査の手続き</p> <p>第02回 三時期区分法と型式学的変遷</p> <p>第03回 氷河期の社会から 旧石器時代</p> <p>第04回 狩猟採集と栽培 縄文時代</p> <p>第05回 農耕社会の成立 弥生時代</p> <p>第06回 農耕社会の生活 弥生時代</p> <p>第07回 巨大古墳の時代 古墳時代</p> <p>第08回 古墳時代の生活と交流 古墳時代</p>			

第09回 寺院と古墳—飛鳥時代
第10回 嵐山の古墳を訪ねる・学外授業
第11回 古代都城、平城京・平安京—奈良・平安時代
第12回 平城宮を訪ねる・学外授業
第13回 過去の復原と公開、そして未来
第14回 考古学の歴史解釈法

教科書

参考書

『考古学の研究法』一瀬和夫 学生社 2013